

# 試験結果報告書

No.219S-960

令和元年9月17日

サルーテ・ラボ株式会社 殿



遠赤外線応用研究会  
〒542-0081大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 供試のion “e” airを使用した場合の、空気中のヒノキ花粉の除去性能を確認する。

試験試料 ion “e” air

試験条件 1) 試験日時 令和元年9月14日  
2) 測定機器 DYDOS CORPORATION製 DC110プロB型

試験方法 60L (50cm×40cm×30cm) のボックス内に8,000個/cc濃度のヒノキ花粉を入れ、時間経過による濃度を測定し、空試験結果とする。次に、ion “e” airをボックス内の中心に配置し、上記濃度のヒノキ花粉を入れ、時間経過による濃度を測定し、比較検証する。  
なお、表示の数値としては初期濃度を100%として、ヒノキ花粉が減少していく割合を連続測定する。

## 試験結果

ion “e” air使用によるヒノキ花粉除去性能試験結果

	経過時間					除去率
	初期濃度	10分後	20分後	30分後	60分後	
ion “e” air	100	82.2	71.7	64.8	22.4	77.6
空試験	100	98.7	89.3	84.1	81.5	18.5

(単位:%)

考察 供試のion “e” airを使用した場合、ヒノキ花粉の除去率は60分経過後で77.6%に達した。一方、空試験の場合は18.5%に止まった。  
このことから、ion “e” airには、空気中のヒノキ花粉を除去する性能があることが示唆された。  
尚、本試験結果は一定の密閉空間での試験による結果であり、実使用空間での実証試験ではありません (カタログなどには明記して下さい)。

本報告書は供試試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

ヒノキ花粉除去試験グラフ

